



2学期のスタート みんなで実りある学期にしよう

夏休みが終わり、8月26日（月）に第2学期が始まりました。始業式では、この2学期を各自にとってより良いものにするために、次の二つの話しをしました。

「目標をもって リスタート」(restart)

2学期は最も長い学期。年度の折り返しも来ます。体育大会や文化祭など、生徒全員の総力を挙げて行う行事も盛りだくさんです。慌(あわ)ただしい中にも、しっかりと学習活動との両立も目指しながら、各自が充実した学期にするために、一人一人が改めて自分なりの目標を掲げていいスタートをきりましょう。リスタートのリ(re)には、再びという意味があります。

「自分の周りを平和にする」

この言葉は、今年夏の広島平和記念式典(原爆の日)の小学6年生二人の「平和への誓い」にあったものです。その一部を紹介します。

私たちは、広島町の町が大好きです。ゆったりと流れる川、美しい自然。「おかえり」と声をかけてくれる地域の人、どんなときでも前を向いて生きる人々。広島には、私たちの大切なものがあふれています。
～中略～

「悲惨な過去」を「悲惨な過去」のまま終わらせないために。二度と戦争をおこさない未来にするために。国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。みんなの「大切」を守りたい。

「ありがとう」や「ごめんね」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。

自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。大好きな広島に学ぶ私たちは、互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。意志をもって学び続けます。被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。

この文にある「広島」の文字を「高鍋」や「東中」に置き換えてみましょう。平和とは、遠い国と国との関係だけではなく、毎日の私たちの言葉や行動、周りの人と人との関係の中から生まれるということが伝わってきます。

長い2学期の日々の中で、あいさつや感謝の言葉など、自分の周りの身近な人やものごとをお互いが大切にしながら、学級や学校、家族の中に「思いやりのある豊かな関係」をつくっていきましょう。

始業式で抱負を発表 各学年と生徒会を代表して、4名が2学期の抱負を発表しました。

1年3組 湯浅 康平 くん（1年生代表）

僕は1学期にできなかったことをやると決めました。そために四つの目標を立てました。

一つ目は何事も努力することです。僕は、中間テストや期末テストであまりいい結果ではありませんでした。だから2学期は授業に集中して、大事なことはその日のうちに宅習にまとめ、テストで実力が発揮できるようにしたいです。

二つ目は、時間を意識した5分前行動を心がけることです1学期はチャイムの1分前ぐらいに教室の移動を行っていました。そのため次の授業に備えることができていませんでした。だから前の時間に出された課題は、次の休み時間ではなく昼休みや家でしようと思います。そして素早く行動して、次の時間の教科書を見て予習や復習をしたいです。

三つ目は、積極的にいろいろな人の手伝いをすることです。1学期は、困っている人がいても見ているだけで何もしてあげられないことがありました。だから、困っている人がいたら声をかけたり手伝ってあげたいです。特に体育大会や文化祭では、積極的に手伝いをしていきたいです。

四つ目は、メリハリをつけることです。僕は休み時間じゃないのに、授業に関係のない話をしていました。他にも給食の配膳中もしゃべっていました。だからこういうことをなくしたいです。そして勉強中もメリハリをつけ、ながら勉強をすることがないようにしたいです。

僕は、クラスの目標の文武両道やこの四つの目標を守り2学期も頑張っていきます。

2年3組 前田 芹菜 さん（2年生代表）

長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まります。皆さんはこの2学期に達成したいことはありますか？私には、達成したいことが二つあります。

一つ目は「忘れ物をしないこと」です。私は通学バックに入れたものをしっかり確認しないでそのまま学校へ行き、忘れ物をしてしまうことがありました。これからは毎日欠かさず確認をして忘れ物をゼロにしたいです。

二つ目は、部活と勉強を両立させて成績を上げることです。1学期は部活で疲れて宿題をするのがやっとなで、自学習ができず成績が下がってしまいました。2学期は自分に厳しく、予習・復習を毎日欠かさずすることで成績を上げていきたいです。

私がこのような抱負にしたのには理由があります。私は、去年の夏に課題を期限までに出すことができませんでした。しかし、今年は体調不良になりながらも、課題を期限までに出すことができ、少しではありますが自信をもつことができました。そして私はもっと自信をもてるようになるためにこの抱負にしました。

